

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

令和元年度 柳津町立会津柳津学園中学校

# 学校だより

令和元年12月13日(金)発行 第 32 号 発行責任者:高橋 弘悦

## 心を磨く

### 生徒の清掃が充実しています

アメリカの大リーグで活躍している大谷翔平選手は、グラウンドなどにゴミが落ちてしていると意識して拾うようにしているそうです。拾っている様子などもテレビなどで紹介されたことがあります。「何でゴミを拾うのか」と聞かれると「人が捨てた幸運を拾っている」と答えています。

つまり、ゴミを拾うということは「幸運、よい運を拾うことになる」と考えて行動しているとのこと。先輩の選手がゴミを拾ったのを見て感動してまねるようになったそうです。

一時期、本校の清掃態度に課題がある、と職員室の話題になったことがありました。集合が遅い、話し声が絶えない、作業がおざなり…。でも、今の会津柳津学園中学校の清掃はとても素晴らしいものです。大勢が床に膝をつき、一心不乱に床を磨いています。話し声もほとんど聞こえません。その一生懸命な姿は、「美しい」とさえ思います。

「ちょっと落ち着きがないなあ…」ということばも最近聞かれなくなりました。心が整っている証拠だと思っています。目で見えない「心」を取り出して磨くことはできません。でも、今の本校の生徒は、目の前の汚れを磨くことによって「心」を磨き、それが行動につながっているのだと思います。

二学期も間もなく終わります。この時期に、このような姿が見られることを大変うれしく思っています。

#### 携帯・スマホ教室を開催します

17日、会津坂下警察署の方をお招きして、携帯・スマホ教室を開催します。報道等でも、スマホの安全な使い方を学ぶ必要性が叫ばれています。生徒対象の講座になりますが、ご家庭でも必要な知識と思いますので、時間を作って、ぜひおいでいただけると幸いです。

○と き 12月17日(火)14:45～

○ところ 3階多目的室

#### 声楽の魅力に触れる

三島町出身のオペラ歌手秦茂子さんを招いた音楽特別授業が5日、柳津町のやないづふれあい館で開かれ、参加した小、中学生が声楽の魅力に触れた＝写真。

会津柳津学園中の全校生徒約80人と、柳津小の5、6年生約40人が参加。クラシックや日本の歌を題材に、秦さんから合唱の指導を受けた。

秦さんは「エーデルワイス」や「荒城の月」などの歌を披露し、一流の声楽家の技術を伝えていた。



12.10 福島民友より

# 便所掃除の詩

教員駆け出しの頃、「便所掃除」という詩にあいました。読むと思わず顔をしかめたくなる詩です。でも、なぜか引き込まれ、当時担任していた生徒たちに紹介したくなった詩です。

ウォシュレット付きの清潔な暖房便座が主流になりつつある今の子どもたちには想像もできないトイレの様子が描かれているので、共感を持って読むことが難しいかもしれません。でも、詩に描かれている心にはぜひ触れて欲しいと思い、紹介させていただきます。ご家庭でも、この詩をもとに感想を述べ合う機会を持っていただければ幸いです。

なお、文中現在では不適切な表現もありますが、ご容赦ください。

## 便所掃除

濱口 國雄

扉をあけます  
頭のしんまでくさくなります  
まともに見ることが出来ません  
神経までしびれる悲しいよごしかたです  
澄んだ夜明けの空気もくさくします  
掃除がいつべんにいやになります  
むかつくようなババ糞がかけてあります

どうして落着いてしてくれないのでしょうか  
けつの穴でも曲がっているのでしょうか  
それともよっぽどあわてたのでしょうか  
おこったところで美しくなりません  
美しくするのが僕らの務めです  
美しい世の中も こんな処から出発するのでしょうか

くちびるを噛みしめ 戸のさんに足をかけます  
静かに水を流します  
ババ糞に おそろおそろ箒をあてます  
ボタン ボトン 便壺に落ちます  
ガス弾が 鼻の頭で破裂したほど 苦しい空気が発散します  
心臓 爪の先までくさくします  
落とすたびに糞がはね上がって弱ります

かわいた糞はなかなかとれません  
たわしに砂をつけます  
手を突き入れて磨きます  
汚水が顔にかかります  
くちびるにもつきます  
そんな事にかまっていられません  
ゴリゴリ美しくするのが目的です  
その手でエロ文 ぬりつけた糞も落とします  
大きな性器も落します

朝風が壺から顔をなぜ上げます  
心も糞になれて来ます  
水を流します

心に しみた臭みを流すほど 流します  
雑巾でふきます  
キンカクシのうらまで丁寧にふきます  
社会悪をふきとる思いで力いっぱいふきます

もう一度水をかけます  
雑巾で仕上げをいたします  
クレゾール液をまきます  
白い乳液から新鮮な一瞬が流れます  
静かな うれしい気持ちですわっています  
朝の光が便器に反射します  
クレゾール液が 糞壺の中から七色の光で照らします  
便所を美しくする娘は  
美しい子供をうむ といった母を思い出します  
僕は男です  
美しい妻に会えるかも知れません

